

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【公表番号】特表2013-542765(P2013-542765A)

【公表日】平成25年11月28日(2013.11.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-064

【出願番号】特願2013-531961(P2013-531961)

【国際特許分類】

A 6 1 B 18/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/39

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月3日(2014.10.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電気手術器具において、

第1ジョーと、

前記第1ジョーとの間に組織を捕捉するため、前記第1ジョーに連結された、前記第1ジョーと向き合った第2ジョーと、

前記第1ジョーに接続された第1電極と、

アクチュエータとを含み、このアクチュエータは、

アクチュエータ及び第1又は第2のジョーに連結された回転自在の細長いシャフトと、前記アクチュエータ内で前記回転自在の細長いシャフトの一部を取り囲む、少なくとも一つの導電性接続部と、

前記アクチュエータ内に配置されており、前記少なくとも一つの導電性接続部に電気的に接続できる少なくとも一つの定置接点とを含み、前記少なくとも一つの導電性リングは前記第1電極に電気的に接続されている、電気手術器具。

【請求項2】

請求項1に記載の電気手術器具において、

前記アクチュエータは、更に、

定置ハンドルと、前記ジョーを間隔が隔てられた位置と近接した位置との間で移動するため、前記第1及び第2のジョーの少なくとも一方に連結された移動自在のトリガーとを含み、更に、

アクチュエータ内に配置された、外部からはアクセスできない内部スイッチであって、前記内部スイッチと接触した前記移動自在のトリガーによって作動される内部スイッチと、

アクチュエータに配置された少なくとも一つの外部スイッチと、前記少なくとも一つの外部スイッチ及び前記内部スイッチを賦勢する電気接続部とを含む、電気手術器具。

【請求項3】

請求項1に記載の電気手術器具において、

前記第1ジョーに接続された前記第1電極は、前記第1ジョー内の第1位置から前記ジョーの外側の第2位置まで延ばすことができ、前記第1電極は、前記第1又は第2のジョーに位置決めされた定置電極に電気的に接続されている、電気手術器具。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の器具において、
前記第 1 電極は曲線をなしている、電気手術器具。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の電気手術器具において、
前記第 1 電極は尖っていない、電気手術器具。

【請求項 6】

請求項 3 に記載の電気手術器具において、
前記第 1 電極は先が尖っている、電気手術器具。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の電気手術器具において、
電気手術ユニットであって、組織を凝固し切断するため、R F エネルギを供給するよう
に形成された高周波 (R F) 増幅器を含み、前記 R F 增幅器は、組織を切断するために R
F エネルギを供給する前に、組織を完全に凝固するには不十分な R F エネルギを組織に供
給する、電気手術ユニットと組み合わされた、電気手術器具。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の電気手術器具において、
前記 R F 增幅器は、確認された位相値が第 1 の所定の位相値と等しいか或いはこれを越
えるまで、前記第 1 電極と、第 2 電極との間に R F エネルギを供給するように構成されて
おり、前記第 1 の所定の位相値は、組織を凝固することが確認された第 2 の所定の位相値
よりも小さく、前記 R F 增幅器は、前記第 1 及び第 2 の電極間に配置された組織を切斷す
るため、前記第 1 及び第 2 の電極間に R F を供給するように構成されている、電気手術器
具。

【請求項 9】

請求項 7 に記載の電気手術器具において、
前記 R F 增幅器は、前記第 1 電極及び第 2 の電極間に配置された組織を予備切斷する
ため、前記第 1 電極と第 2 電極との間に R F エネルギを供給するように構成されており、前
記 R F 增幅器は、前記第 1 電極及び第 3 電極間に配置された組織を切斷するため、前記第
1 電極と第 3 電極との間に R F エネルギを供給するように構成されている、電気手術器具
。

【請求項 10】

請求項 8 に記載の電気手術器具において、
前記第 1 の所定の位相値は、前記第 1 及び第 2 電極間の間隔に基づく、電気手術器具。

【請求項 11】

請求項 8 に記載の電気手術器具において、
供給された R F エネルギは、前記第 1 の所定の位相値に基づく第 1 量で供給される、電
気手術器具。

【請求項 12】

請求項 8 に記載の電気手術器具において、
前記第 1 の所定の位相値は、前記第 1 及び第 2 のジョー間の間隔に基づく、電気手術器
具。

【請求項 13】

請求項 1 に記載の電気手術器具において、
前記第 1 及び第 2 のジョーに連結された移動自在のカッターを更に含む、電気手術器具
【請求項 14】

請求項 13 に記載の電気手術器具において、
前記アクチュエータは、更に、
前記ジョーを、間隔が隔てられた位置と近接した位置との間で移動するため、前記第 1
及び第 2 のジョーの少なくとも一方に連結された、定置のハンドル及び移動自在のトリガ
ーと、

前記アクチュエータ及び前記第1又は第2のジョーに連結された細長いシャフトと、
前記細長いシャフト内に配置された前記移動自在のカッターに連結されたブレードシャ
フトに連結された、長さ方向軸線に沿って移動自在のブレードトリガーと、
長さ方向軸線に沿った前記ブレードシャフトの遠位方向移動を制限する第1ストップと
を含む、電気手術器具。

【請求項15】

請求項14に記載の電気手術器具において、更に、
前記長さ方向軸線に沿った前記ブレードシャフトの近位方向移動を制限する第2ストップ
を含む、電気手術器具。